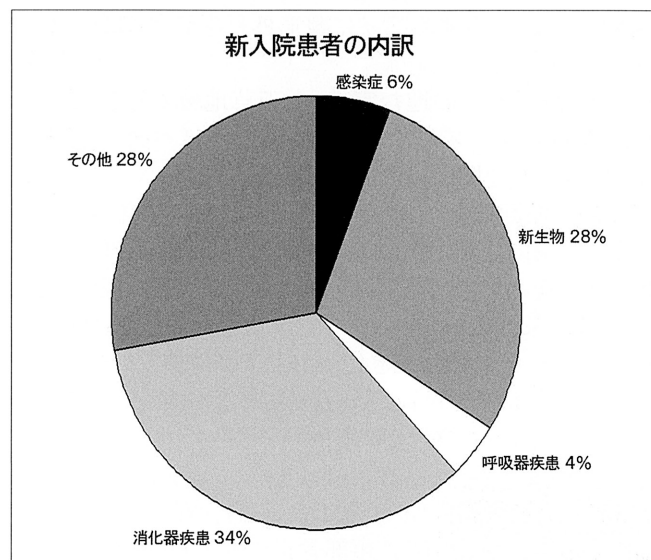


2010年度は外科スタッフ2名で、診療にあたった。

新入院患者数は419例で内訳は感染症24例、新生物118例、呼吸器疾患18例、消化器疾患143例、その他116例であった。

手術件数は前年度の152例に対し173例と微増した。

局麻手術は前年度とほぼ同数であったが、全麻・腰麻手術は、前年度129例から146例と13%増加した。乳癌は3例行い、1例は乳房温存手術であった。胃癌は8例から14例に増加し、うち4例に腹腔鏡下胃切除術を行った。虫垂炎は前年度とほぼ同数であったが、うち2例に腹腔鏡下虫垂切除術を行った。大腸癌の手術は前年度とほぼ同数であった。腹腔鏡下胆嚢摘出術は前年度に比べ、約2割増加した。鼠径・大腿ヘルニアは前年度に比較し5割増加した。



	2006		2007		2008		2009		2010	
	局麻	腰全麻	局麻	腰全麻	局麻	腰全麻	局麻	腰全麻	局麻	腰全麻
甲状腺		2				1				
皮下腫瘍摘出	25		9		13		12		19	
IVポート			6		4		7		2	
デンバーシャント							1			
その他の局麻手術							3		3	
Auchincloss		1		4		4		2		2
乳房温存手術						1				1
胃全摘		4		3		7		3		3
胃切除		6		6		3		5		7
腹腔鏡補助下幽門側胃切除術										4
汎発性腹膜炎		2		4				2		1
結腸切除術		14		7		5		7		12
低位前方切除術		1		5		4		4		3
腹会陰式直腸切断		3						1		
腹腔鏡補助下結腸切除術				1		1		2		
イレウス		7		7		7		8		3
虫垂炎		16		11		11		8		9
痔疾		4		4		2		2		1
肝切除		2		1						
開腹胆摘		3		3		9		4		
腹腔鏡下胆嚢摘出術		40		38		33		36		43
鼠径・大腿ヘルニア		20		19		26		24		36
その他のヘルニア		3		6		5		6		2
その他の手術		10	2	6	2	8		15		19
計	25	138	17	125	19	127	23	129	24	146